

# 海外生活 エッセー

シドニー事務所

## 「Foreigner」と国籍

シドニー事務所 所長補佐 藤島 穰 (青森県派遣)

### → 「Foreigner」の意味

ある日、当事務所の現地調査員が、オーストラリアにおいては、「海外の人」のことを英語で「Foreigner」とは言わない、という話をしてくれました。私は、「海外の人」は英語で「Foreigner」と表現すると学びました。しかし、移民の国であるオーストラリアでは、大多数の人が海外に何らかのバックグラウンドを持っていることから、「海外の人」と言いたいときには言葉選びに気を遣う必要があるということです。

オーストラリア統計局によると、オーストラリア先住民(アボリジニ・トレス海峡諸島民)の子孫は2016年6月現在、約80万人で、オーストラリア全人口の約3.3%です。つまり、オーストラリアの人口の約96.7%は広い意味で「Foreigner」であることから、「海外の人」と言うときは、例えば代わりに「移民」を意味する「Immigrant」を用いたり、「People from overseas」と丁寧に言うのが一般的とのことです。

### → Acknowledgement of Country

この言葉遣いに関連して、当地でのマナーについて少し触れます。

シドニー事務所に赴任してから何度も各種会議やイベントへ参加してきましたが、先住民でない主催者などが初めに登壇して挨拶を行う際、オーストラ



オーストラリアの現在までの歴史をテーマにしたラム肉のコマーシャルの一場面  
(参考: Australia Day lamb advertisement 2017)

リアではその土地の先住民の方々へ敬意を表する一言が添えられるのが一般的です。これは2010年にオーストラリア連邦議会において、開会の際に先住民への謝辞が述べられ、それ以降広く普及したもので、自治体関係者が集まる会議からスポーツイベントの開会式等まで、そして、大規模なものから小規模なものまで、幅広くこの儀礼が浸透しています。先日出席した姉妹都市記念行事においても、やはり当地の市長の挨拶の冒頭には当地の先住民に対する敬意と謝辞が述べられました。

### → 国籍で混乱

2016年に実施された国勢調査では、国外で生まれたと回答した人の割合は全体の約26.3%(約616万人)となり、また、家庭で使用する言語が英語以外であると答えた人の割合は全体の約20.8%(約487万人)となっています。

昨年から今年にかけて、オーストラリア連邦議会において、多数の議員がオーストラリア以外の国籍を所持する二重国籍であることが判明し、または疑われ、議員辞職をしたり、高等裁判所から議員資格無効裁決が下されたりするなど、社会に大きな混乱をもたらしました。その多くは、両親または先祖が保持していた国籍を引き継いでいたり、出生地がオーストラリア国外であったことが理由であるとされています。

クレアでの業務を通じ知り合った現地の大学生は、父親がイギリス出身で母親が日本出身とのことでした。彼女の国籍はどの国になるのかと思い尋ねてみると、本人はよくわからないと。どの国のパスポートを持っているかを尋ねたところ、オーストラリア、イギリスそして日本。最後に、自分のアイデンティティは、と聞くと、返ってきた言葉は「ビーチ(Beach)！」。パスポートが何冊あろうとも、彼女はオージーだ、と私は確信しました。